

令和3年9月

魚津市定例記者会見



日時：令和3年8月30日(月) 午後1時30分～午後2時25分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、NHK、北日本放送、富山テレビ放送、NICE-TV、ラジオミュージック

市当局出席者：市長、総務部長、財政課長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 9月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容と令和2年度決算の状況

- ・9月補正予算の規模は総額1億2,318万円。大きく分けてコロナ対策は3,400万円ほど、それ以外は8,900万円ほどとなる。補正の財源で市税の固定資産税が8,900万円ほど計上されていて、市債の臨時財政対策債が同額減額になっている。これは税収入が予想以上に伸びたため。なお、令和3年度の当初予算から9月補正までの新型コロナウイルス感染症対策予算額は9億4000万余りの額となる。
- ・避難所等の公衆無線LAN環境追加整備事業については、令和2年度は体育施設や文化施設を中心に28施設でLAN拠点整備を行ったが、今回の補正では地区の公民館を中心に整備したい。
- ・子どもインフルエンザ予防接種助成事業については、小学生と中学生に重点を置きインフルエンザ予防接種助成を行う。対象者は市内在住の小中学生約2,750人（うち小学生：約1,750人、中学生：約1,000人）となる。未就学児は、昨年引き続き県の助成事業の対象となっている。助成金額は1回の接種につき上限3,000円（小学生2回まで、中学生1回）、助成期間は年内となる。
- ・コロナ禍における生活困窮者支援事業については、6月補正の時点において令和3年8月末までとしていた申請期限が、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ11月末まで延長されたことに伴い、支給対象者が増加することに対応するもの。6月補正時点で15世帯分（370万円）が計上されていたが、今回ほぼ同額の15世帯分（360万円）を追加し、申請期限も11月末まで延長する。

- ・コロナ禍により市内の酒類の消費が停滞して酒造事業者が大きな打撃を受けていることから、ミラペイを利用して市内の酒蔵を応援する事業を行う。事業内容は、市内酒造事業者の製品を市内の酒屋でミラペイを使って購入した場合にプレミアム率30%のコイン還元を行う。また新酒のシーズンに合わせて販売促進のイベントも行う。事業費はコイン還元として200万円、消費イベントの開催委託料として50万円を計上する。購入対象期間は今年の10～11月、コイン還元は購入後1か月以内を予定している。消費イベントはコロナの感染状況等を見ながら年度内に開催したいと考えている。
- ・修学旅行臨時対策事業については、元々予定していた県外への宿泊付きの修学旅行を9月から10月に変更し、旅行先も県外から県内の日帰りへ変更することにより発生する手数料（キャンセル料）を計上するもの。なお、新しい行先は立山黒部アルペンルート。
- ・映画PRキャンペーン事業については、市内ロケがあった映画「川っぺりムコリッタ」の上映に併せてロケ地紹介などを行い、魚津市のPRや認知度向上、交流人口増加を図るもの。応援する会（北日本新聞社を事務局とする映画PR実行委員会）が実施するマップ・パネル作成展示、新聞掲載などに対して負担金を支出する。県内全体の総事業費は600万円だが、うち魚津市の負担額は20万円。映画「川っぺりムコリッタ」は2021年11月3日公開予定。魚津市では市本庁舎がロケ地となっている。
- ・総合公園賑わい創出事業（あずまや整備）については、令和4年春には市制70周年記念大会が予定されていることから、年間延べ2万3千～4千人が利用しているパークゴルフ場にかねてから希望の強かったあずまやを増設するもの。整備は冬季休止期間中に行う。
- ・地域介護・福祉空間整備等事業については、施設の老朽化等に伴う大規模改修が必要な高齢者施設等を支援するもの。対象施設はNPO法人生活支援センターアットホーム新川の「グループホーム天神金さん銀さん」で改修内容は屋根・外壁の葺き替えや電気温水器の更新など。総事業費は約950万円。
- ・市制施行70周年記念イベント企画調査事業については、令和4年度に市制70周年という記念すべき節目を迎えるにあたり、今年度中から事前に記念イベントの企画調査を行ってもらおうもの。今年の秋から魚津まつり実行委員会、魚津産業フェア〇〇魚津実行委員会などに、来年度の特別イベントについてのプロポーザル審査や企画提案等の検討に入ってもらおう。

- ・ 体育館安全対策事業（バスケットゴール改修等）については、今年4月に北九州市でバスケットボールゴールの落下事故があったことから本市の体育施設の点検・更新を実施するもの。対象施設は公民館等体育館、小・中学校体育館、旧小学校体育館の3つのカテゴリーに属する施設。
- ・ 地域ぐるみ除排雪事業については、地域ぐるみでの除排雪を推進するため、地区に貸与する除雪機を購入するもの。機種は小型ハンドガイド式ロータリー除雪機。
- ・ 小学校プール授業委託事業（清流小学校）については、清流小学校のプールが老朽化に伴う漏水等により使用できない状況となったため、7月に予定していたプール授業が実施できなかったことから、2学期（9～11月）に魚津市温水プールでプール授業を実施するもの。なお、星の杜小学校では、同じくプール老朽化のため「プール授業外部委託モデル事業」が実施されており、令和3年度の当初予算で104万円がすでに計上されている。
- ・ フレイル予防普及啓発事業については、介護予防の通いの場等に参加する高齢者を対象に、下肢筋力とバランス測定が可能な「運動機能分析装置」を活用することで自身の運動機能を知ってもらい、フレイル予防の普及啓発や取組強化につなげるもの。
- ・ サイクリストに優しい宿整備事業については、5月に「富山湾岸サイクリングコース」がナショナルサイクルルートに指定されたことを契機として、サイクリストが訪れやすい街を推進し、宿泊者数や交流人口の増加につなげるもの。富山県が実施する「サイクリストに優しい宿整備補助金」を活用し、かつ、「サイクリストに優しい宿」の認定を受けた市内宿泊施設に対して、市が追加で補助金を交付する。市の補助率は県の補助率1/2[上限10万円]の半分である1/4[上限5万円]。
- ・ 令和2年度の魚津市の決算の状況については、歳入・歳出とも過去最大となった。要因としては市民全員に10万円ずつ支給した特別定額給付金のほか、コロナ対策の交付金を活用した取り組みを行ってきたことなどによる。実質収支は昨年度より4.5億円多い14.8億円となった。なお、そのうち1.9億円（9月1日時点：前年同期2.4億円）は、前年度からの繰越金として本年度予算に計上済である。残りの使いみちについては、新型コロナ対策や、除雪等災害対策などへの対応を優先して確保しておく。

- (2) 魚津市制施行70周年記念事業シンボルマークの決定及び協賛事業の募集について
- ・多くの市民の皆様と一体感を持って市制施行70周年を盛り上げるため、シンボルマークを募集したところ、全国各地から155作品の応募があった。美術の先生や市職員による選考の結果、林原涼子さん制作の作品に決定した。制作者の林原涼子さんは魚津市出身の大学生で東京都在住。円筒分水をモチーフに魚津市の果樹や魚を周りに配置し、70周年の文字を囲んでいる。青と紫をベースにした全体的に水を象徴したポップなデザインとなっている。
 - ・魚津市制施行70周年記念協賛事業の募集については、来年令和4年4月1日から令和5年3月31日までに実施し、完了する事業が対象となる。なお営利、商業宣伝、政治的または宗教的な活動等を目的とするものは対象としない。
- (3) 手数料・入館料のQR決済の導入について
- ・9月初旬から、現金での支払いが多い主要窓口における支払いについて、QRコード決済「PayPay」と「LINEPay」を導入する。導入窓口及び対象となる支払いは、市民課・税務課の発行手数料、魚津水族館や埋没林博物館の入館料。市民サービスの向上と、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためキャッシュレス化を推進したい。
- (4) 魚津市フレイル予防チャレンジ（全7回）のご案内
- ・フレイル予防に欠かせない「運動・認知・栄養・口腔」について、複合的に学習・実践する事業を令和3年9月29日（水）～11月17日（水）まで毎週水曜日、全7回開催する。会場はスコール・フレイル予防センター。対象者は市内在住のフレイルのリスクがある方。定員は1クールにつき10名。委託先のスコール・フレイル予防センターの強みを活かし、多職種の講師による様々なチェックや測定、実践プログラムが行われる。
- (5) みらパーク音楽祭2021開催について
- ・昨年大好評だった音楽会の第2弾。今年は会場をミラージュランドに移し、内容も新たに2日間開催する。開催日は9月25日（土）～26日（日）、時間は両日も10:30～15:00、主催はNAPSでミラージュランドも協力する。両日もストリートピアノを開催予定。（事前予約不可。当日予約のみ）また、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、直前での内容の変更や、期間の短縮、開催延期等が発生する場合もある。

- (6) 初心者・高齢者のための「スマホ教室」第3弾の開催について
- ・非常にニーズが高い。市では引き続きソフトバンク株の協力を受けながら開催する。日にちは9月21日(火)、会場は魚津市立図書館。

2. 質疑応答の内容

「子どもインフルエンザ予防接種助成事業」について

《記者からの質問》

予防接種を受ける人は医療機関において、費用の全額を一旦自己負担するのか、それとも助成額との差額を支払うのか。

《回答》(市長)

助成額との差額だけを支払う。(現物給付)

「ミラペイによる消費喚起事業」について

《記者からの質問》

ミラペイによる消費喚起事業において還元された「コイン」に使用期限はあるのか。

《回答》(市長)

7月～8月に発行したプレミアム付きミラペイに最初から入っているポイントには今年11月末までの期限があるが、それ以降のチャージしたポイントや付与されたコインには期限は無い。

「令和2年度決算の実質収支」について

《記者からの質問》

すべて財政調整基金残高に回せるのか。

《回答》(市長)

財政の教科書的には実質収支の半分は積み立てる建前となっているが、今年度はこれから台風や除雪のシーズンが控えている。基金に積み立てた後にすぐ取り崩すというのも良くないと思うため、状況が固まった年度末までに見極めたい。財政健全化の目標である「令和6年度末に10億円到達」を1年でも早く達成したい。

「みらパーク音楽祭2021の開催」について

《記者からの質問》

みらパーク音楽祭は県の警戒レベルがステージ3でも開催するのか。

《回答》(市長)

しっかり着席するスタイルではなく、来場者が屋外を自由に行き来でき、主催者のコントロールが効かないため、ステージ3のままだと開催は無理だと思う。

「新型コロナウイルス感染症」について

《記者からの質問》

新型コロナウイルスの感染者情報は県が一元管理しているが、そのことについてどう思うか。また県が宿泊療養施設を富山市で2か所と県西部で1か所用意したが、新川地区についてはどう思うか。また、市は魚津での医療のひっ迫をアピールしているが、市民の不安を煽ることにはなっていないか。

《回答》（市長）

プライバシー保護の観点からは良いことだと思う。しかし、入院調整中の感染者宅へ日用品・食料品を配る事業のような場合、県（厚生センター）と協力関係が得られる場合は上手く行くが、そうでなくなった場合は事業ができなくなる。そういう点では良くないと思っている。宿泊療養施設については、状況いかんによっては新川地区にも必要だと思う。まずは新川地区の医療圏での医療の確保が一番大事、そのうえで一時的にオーバーフローすることが考えられる場合、速やかにホテル等が確保できるよう県に準備していただければと思っている。医療のひっ迫については、すでにお盆の前に労災病院に病床の数（15床）を超える依頼が来ている状況であった。お盆期間中に市民の皆さんに感染予防の行動を守って欲しかったので呼びかけた。労災病院に病床の数を増やせないかとお願ひもしているが、市民の方にも現状を正しく訴えて、そのうえで医療体制を整えたい。

「自宅待機者宅へ日用品・食料品を配る事業」について

《記者からの質問》

24日から開始された配達事業については、初日は3件と聞いているが、それ以降の実績はどうなっているか。また自宅待機者の人数（母数）は何人か。

《回答》（市長）

8月30日の13:00現在で7世帯に12セットの配達実績となっている。自宅待機者の人数については、（プライバシー保護の観点から）県から正確な人数の情報は来ていない。県の厚生センターから自宅待機者へ配達希望の確認をとっている。

「衆議院議員選挙」について

《記者からの質問》

魚津市出身の越川さんが立候補を表明したことについてどう受け止めているか。また、地元の方を応援すべきではないかとの声にはどう思うか。

《回答》（市長）

志をお持ちになって出られるとのことなのでそのとおりに受け止めたいと思う。応援については、必ずしも地元の人だけではなく、地域の課題解決に力になって働いてくれる人を選ぶべきだと思っている。